

2. 指標設定

成果指標	指標名	施設の適正な管理運営		目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値	—				道の駅等施設の適正な管理運営を図る必要があるため			
活動指標	指標	a	農産物販売額	b		c		d	
	数値	目標	8億円	目標		目標		目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22	活動指標名	単位	H20	H21	H22
施設の適正な管理運営		—	—	—	a 農産物販売額	億円		5.7 億円	5.4 億円
								71.2 %	67.5 %
					b				
					c				
					d				

4. 課題と対応

課題
施設の老朽化と経営の充実
対応（改善点等）
施設補修に関しては、年々増える傾向にあるため、リスク分担の取り決めを再検討。経営の充実に関しては、経営努力してもらう

5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

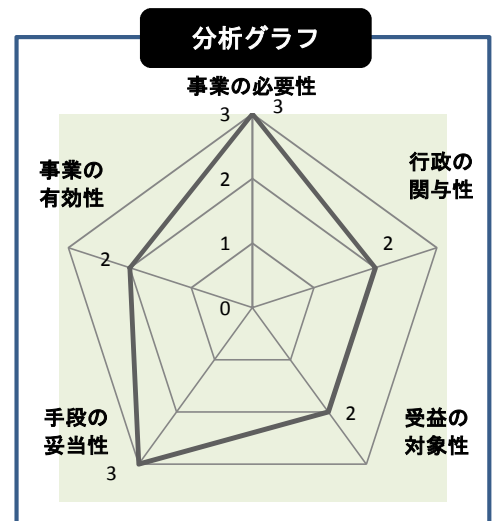
決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
		27,740	50,387	27,647	15,292
うち経常経費		18,158	15,477	15,033	13,067
財源内訳	国費		26,000		
	県費				
	市債				
	その他	6,450		4,380	
	一般財源	21,290	24,387	23,267	15,292
うち経常		18,158	15,477	15,033	13,067
事業費に係る人件費		1,698	1,707	1,971	1,935

6. H24年度予算の方向性

方向性
減額
理由
指定管理料の削減を行っているため

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 道の駅は行政が設置者となるのが前提であるため
② 行政の関与性	責任領域の精査	2 行政の関与は必要だが、運営は民間が行うことが妥当と考えられるため
③ 受益の対象性	事業対象の確認	2 道の駅・里の駅に限った事業であるが、農家の所得向上につながる
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 地産地消の指標である道の駅での農産物の販売額を指標とすることは妥当であると思われるため
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 独立採算への経営努力が十分とは言えない



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価評価内容
見直し	公共施設の見直し方針に則ること